

# 事業報告

（自 令和 7年 4月 1日）  
（至 令和 8年 3月 31日）

## 1.事業の概況

### （1）事業の経過及び成果

前期に引き続き、富山市の公共施設である八尾地域都市公園、神通川水辺プラザ自然ふれあい学習館、久婦須川ダム周辺広場、八尾パインパーク、八尾サンパーク、八尾ゆめの森交流施設の指定管理者として、施設の管理運営業務を行いました。

また、自主事業として、富山八尾中核工業団地内の道路法面の管理業務を受託するなど、自主財源の確保にも努めました。

当社の屋台骨である温泉宿泊施設「ゆうゆう館」では、昨年度に比べ来客数は若干減少したものの、売上はほぼ同額を確保することができました。一方、市からの委託料の減額や人件費の上昇、物価の高騰等によるコスト増により、当期純利益は昨年度より減少し 8,578,056 円となったものの、繰越利益剰余金は、7年度当初の▲1,773,913 円から 6,804,143 円とプラスに転じることができました。

### （2）財産の状況

当期末の総資産は 127,705,137 円、純資産は 83,354,143 円となりました。

### （3）今後の取り組み

本年 4 月の日銀「さくらレポート」では、北陸地域の景気の総括判断は「一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している」とされたものの、中東情勢の今後の展開次第では、地域の景気を下押しする可能性があることから、その動向を十分注意して見ていく旨の報告がありました。

当社においても、中東情勢の緊迫化を受けた原油価格の高騰や物流の停滞に物価上昇などによる影響は非常に大きいと考えており、これらの動きを一層注視していくと共に、人件費や上下水道料等の上昇が経営をさらに圧迫する懸念がある中においても、良質なサービスの提供による再訪率の向上、広告・営業の強化、事務処理の効率化などの経営努力を行い、企業収益を改善するとともに、お客様に極め細かいサービスを提供できるよう最大限の努力を払ってまいります。

これからも、地域に根付き、親しまれ、信頼される企業を目指し、より良い施設運営に取り組み、地域の発展に寄与してまいります。